

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第49回)

LINE新機能「OpenChat」通知やまず退会できず

2019.09.26



LINEのグループ機能を拡張した「OpenChat」が8月19日に開始された。ところが、開始直後、スマホの通知が止まらなくなり、退会したくてもできない不具合が発生。筆者も、主人のスマホが延々と通知を鳴らし続ける事態に遭遇した。通知は設定をオフにしても止まらず、トークルームからも退会できない。頭を抱えたユーザーは多数に上った。

もともとOpenChatは、LINE IDや他のSNSにおける個人の連絡先や個人情報の交換、交際相手を求める行為、暴力的、わいせつな表現、営利目的の活動、権利侵害などが禁止されていたが、サービス開始時から出会い系的な利用やわいせつな画像の投稿、不適切な発言やスタンプの連打などの行為が相次いだ。

運営側は、サービス開始当日である8月19日、安心安全な利用環境の維持のため、24時間365日監視を行い、違反トークルームや投稿の削除、違反ユーザーの強制退会、LINEの利用停止などの措置を行うと発表した。

翌20日には「トークルームから退会できない場合の対処方法」を案内。通知に関しては、トークルームに参加する際、デフォルトでオンになっていた通知設定をオフに。トークルーム内でのスタンプ連打に関しては、一定数でOpenChatが一時的に利用できなくなる仕様に変更した。

さらに、トークルームの検索機能、メイン画面でおすすめトークルームへのリンクを表示していた「ピックアップ」も停止した。

「OpenChat」とは匿名でオープンなトーク

OpenChatのトークルームは、LINEユーザーなら誰でも作れる。5000人まで参加可能(既存の「LINEグループ」機能は500人までの招待制)だ。トークルームごとに自由なプロフィールを設定できる。トークルームの招待はURLやQRコードで行えて、広い範囲での勧誘が可能という、なかなかユニークなもの。これまでの交友関係よりも、幅広い人とのコミュニケーションに活用でき、スピーディーな情報収集が可能というフレコミだ。

例えば保育園のママ友グループを作る、最新ゲームの攻略方法を交換する、好きなアイドルやサッカーチームの話題で盛り上がる、イベントの情報をリアルタイムに交換するなど、シチュエーションに応じて自由自在なコミュニケーション・グループを作成して楽しく盛り上げられる。トークルームの形態は、「オープン」「管理人の承認」「パスワードを設定」という3つから選べる。

通常のLINEのクローズドなコミュニティと正反対の、まさに“オープン”な“チャット”。LINEはなかなか面白いことを始めるんだなと、発表のリリースを見て思った。

なぜこんなことが起こったか… 続きを読む